

各関係機関の長 殿

国立医薬品食品衛生研究所長
(公印省略)

薬品部研究員の公募について

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、当所薬品部研究員を公募することとなりました。つきましては、御多忙のところ誠に恐縮とは存じますが、貴機関関係者に御周知下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 職名

薬品部研究員（厚生労働技官・研究職）

2. 業務内容

当所薬品部は、化学合成医薬品原薬及び製剤を中心とした医薬品、医薬部外品、並びに医薬品添加物を主な研究対象とし、これらの品質、安全性及び有効性を確保するため、生物薬剤学的あるいは物理薬剤学的評価、規格基準、品質管理等に関する基礎的あるいは応用的研究を行うとともに、品質に関する試験及び検査を実施している。

今回公募する研究員は、分析化学を基盤とした医薬品製造管理技術の高度化に対応するための試験・研究業務、特に医薬品の連続生産に関する試験及び研究に従事する予定である。

3. 応募資格

- (1) 薬学系、工学系及び関連領域の博士号取得後原則として5年以内の者、又は令和7年3月31日までに博士号取得見込みであること
- (2) 医薬品等の化学物質を対象とした分析化学又はプロセス化学工学に関する知識及び経験、並びに業績を有していること
- (3) 医薬品の連続生産や工程管理技術に関する研究を実施する意欲を有していること
- (4) 厚生労働省所管の国立研究機関における試験・研究の意義と責務についての理解と意欲を有し、所内外の研究者と積極的に共同研究を行う意欲と協調性を有すること
- (5) 外国人との専門分野での打ち合わせ、議論を行うに足る英語力を有すること

4. 提出書類

- (1) 履歴書 (<http://www.nihs.go.jp/oshirasejoho/kobo.html> に掲載されている様式、又は市販の横書き履歴書用紙、あるいはそれに準じる様式のものに、高等学校卒業以降を記入し、写真（6か月以内撮影）を添付すること。）
- (2) 現在までの主要研究概要（A4用紙2頁、カラー可）
- (3) 研究業績目録（原著論文、総説、解説、単行本、シンポジウム、学会発表、知的

- 財産、受賞歴等) 及び主要論文別刷 (3 報以内、総説、解説も可)
- (4) 将来への抱負 (陳述書) (A 4 用紙 2 頁)
 - (5) 学位記 (写し) あるいは学位を証明するもの、または大学院博士課程の修了 (見込み) 証明書等により学位取得見込みであることを証明できるもの
 - (6) 現在までの競争的研究費の獲得状況
 - (7) 推薦状 (複数可)
 - (8) 着任時期について希望がある場合は、その旨を記載した書類
(博士号取得見込みの場合は、学位取得後の採用)
 - (9) 障がいをお持ちの方で、職場内での配慮を希望する場合はその旨を記載した書類
- ※各書類が複数枚になる場合にはクリップ止めにすること (ステープラーは使用しない)。
※ (2) ~ (4)、(6) ~ (9) は様式自由。
※応募書類は返却しません。

5. 応募締切日

令和 6 年 7 月 22 日 (月) 13 時 (必着・締切厳守)

6. 選考採用試験

- (1) 書類審査 令和 6 年 7 月下旬 (予定)
 - (2) 面接試験 令和 6 年 8 月上旬 (予定)
- ※面接には、15 分程度のプレゼンテーションを含む。
※面接の実施場所は、国立医薬品食品衛生研究所。

7. 採用予定年月日

令和 6 年 10 月 1 日 (事情により応相談)
※着任時期について希望がある場合は、4. 提出書類 (8) の書類を提出すること。

8. 処遇

- (1) 給与は、「一般職の職員の給与に関する法律 (昭和 25 年法律第 95 号)」等に基づき、学歴・経歴等を勘案して決定します。
- (2) 1 週間当たりの勤務時間は 38 時間 45 分 (週休 2 日制) です。
- (3) 年 20 日の年次休暇 (採用の年は、採用の時期により 20 日より少ない日数となります。) のほか、特別休暇 (夏期・結婚・忌引・ボランティア等)、病気休暇の制度が整備されています。

9. 書類提出先

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-26
国立医薬品食品衛生研究所長
※応募書類の封筒には「薬品部研究員応募書類在中」と朱書きの上、書留にて郵送又は総務部総務課人事係に持参すること。

10. 本件問い合わせ先

国立医薬品食品衛生研究所 総務部総務課 人事係 友部 克也
電話：044-270-6600 内線 1103
E-mail: katsuya-tomobe@nihs.go.jp